

実 績 報 告 書

1	事業者名	サイエンスホッパーズ																																																																								
2	事業名	サイエンスホッパーズ科学実験教室																																																																								
3	実施期間	30 年 4 月 22 日～ 31 年 3 月 9 日																																																																								
4	実施場所等	杉並区立松溪中学校、杉並区立杉並第十小学校、高井戸区民センター																																																																								
5	対象年齢・ 参加人数	小学4年生～高校生 297名 小学生277名、中学生19名、(高校生24名ボランティア含む)																																																																								
6	参加費	無料 ・ 有料（ 1回 500 円）																																																																								
7	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年間12回の天文、生物、化学など、様々な分野の科学教室を開催した。 ・理科専門講師、大学生講師による指導 ・中高生のための教室を実施 <p style="text-align: center; margin: 10px 0;">30年度 科学実験教室プログラム</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 15%;">日付</th> <th style="width: 55%;">項 目</th> <th style="width: 15%;">参加人数</th> <th style="width: 15%;">保護者人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">4月21日</td> <td>第162回水中の微生物の観察</td> <td style="text-align: center;">38</td> <td style="text-align: center;">13</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">5月26日</td> <td>第163回光るグミ</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">6月16日</td> <td>第164回メダカの卵の観察</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">7月11日</td> <td>第165回アンモナイトの殻のつくりを探る！</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">12</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">9月29日</td> <td>第166回はんだごてを使った電子工作</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">10月20日</td> <td>第167回望遠鏡づくりと月の観察</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">11月17日</td> <td>第168回イカを解剖してみよう</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">12月22日</td> <td>第169回新しい実験が生まれる時</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">12月26日</td> <td>第170回ガラスの化学 トンボ玉</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">12月27日</td> <td>第171回水素を探せ水素を燃やせ</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">2月16日</td> <td>第172回電池のいらない傘ラジオ</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">3月9日</td> <td>第173回VRの不思議にせまろう！（東大CAST）</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td style="text-align: center;">14</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">297</td> <td style="text-align: center;">82</td> </tr> </tbody> </table> <p>教室の様子、別紙参照</p>				日付	項 目	参加人数	保護者人数	1	4月21日	第162回水中の微生物の観察	38	13	2	5月26日	第163回光るグミ	23	5	3	6月16日	第164回メダカの卵の観察	23	5	4	7月11日	第165回アンモナイトの殻のつくりを探る！	32	12	5	9月29日	第166回はんだごてを使った電子工作	23	9	6	10月20日	第167回望遠鏡づくりと月の観察	23	6	7	11月17日	第168回イカを解剖してみよう	31	9	8	12月22日	第169回新しい実験が生まれる時	19	3	9	12月26日	第170回ガラスの化学 トンボ玉	14	0	10	12月27日	第171回水素を探せ水素を燃やせ	19	0	11	2月16日	第172回電池のいらない傘ラジオ	23	6	12	3月9日	第173回VRの不思議にせまろう！（東大CAST）	29	14			合 計	297	82
	日付	項 目	参加人数	保護者人数																																																																						
1	4月21日	第162回水中の微生物の観察	38	13																																																																						
2	5月26日	第163回光るグミ	23	5																																																																						
3	6月16日	第164回メダカの卵の観察	23	5																																																																						
4	7月11日	第165回アンモナイトの殻のつくりを探る！	32	12																																																																						
5	9月29日	第166回はんだごてを使った電子工作	23	9																																																																						
6	10月20日	第167回望遠鏡づくりと月の観察	23	6																																																																						
7	11月17日	第168回イカを解剖してみよう	31	9																																																																						
8	12月22日	第169回新しい実験が生まれる時	19	3																																																																						
9	12月26日	第170回ガラスの化学 トンボ玉	14	0																																																																						
10	12月27日	第171回水素を探せ水素を燃やせ	19	0																																																																						
11	2月16日	第172回電池のいらない傘ラジオ	23	6																																																																						
12	3月9日	第173回VRの不思議にせまろう！（東大CAST）	29	14																																																																						
		合 計	297	82																																																																						

次世代育成基金の助成で得られた効果

- ・年間 12 回の科学教室で、297 名の小中学生が科学を学ぶことができた。
- ・さまざまな分野の科学を専門講師のもとでしっかりと学べ、興味関心をもつことができた。
- ・2 時間の教室で集中した科学体験を提供できた。
- ・様々な内容の科学教室で今年度の光るグミは、科学だけでなく食育にも関連するプログラム内容で、身近な食事からも科学を体験できた。
- ・継続した活動が円滑にできた。
- ・講師が参加者の年齢層をみて、年代にあったプログラムや助言を提供したので、より中高生も満足できた。
- ・次世代育成基金の助成を受けたことで、今までできなかった高額な実験プログラムも提供することができた。

交流をとおして、小中高校生が得た効果

- ・小中高と様々な年齢の子どもがいることで、小学生は中学生の、中学生は高校生の姿勢をみながら学ぶので教室に緊張と活気があった。
- ・席順は、来た順に自由に決めるので、普段接する機会のない学校や学年の子ども同士がと協力し合いながら交流ができた。
- ・中学生は、高校生のフォローで小学生より一歩踏み込んだ実験や話し合いができ、満足した。
- ・高校生は、科学の楽しさとボランティア活動の両面から考えながら参加してもらうことで、高校生の育成もできた。
- ・高校生が教室の終わりに感想をのべることで、科学の楽しさや大切さを下級生に伝えることができた。
- ・斜めの関係で、どの年代も意見を活発に言うことができ、和やかな教室と交流の場所を提供できた。
- ・年齢の近い大学生講師の科学教室は親しみやすく、より科学を身近に感じることもできた。

8 効果

ワンコイン(500 円)の効果

- ・身近に科学を体験できる場所を 12 回も提供できた。
- ・継続的に来る参加者が多くいた。
- ・次世代育成基金の助成金で活動していることを、さらに周知できた。
- ・低料金のため、興味をもったときに参加しやすい。

その他の効果

- ・29 年度杉並区次世代育成基金活用事業実施報告書に掲載されたことで、活動を周知してもらう良い機会になった。

- | | |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <ul style="list-style-type: none">・9月から後半のお知らせをしたことで、後半の人数が安定し、当教室に馴染みのない中学生にも周知できた。・中高生対象の講座を2年継続して開催したことで、高校生の参加が1名あった。引き続き継続して周知していきたい。・中高生対象の講座をつづけて開催してほしいという要望もあった。・アンケートより、この活動を継続してほしいと切望する小中学生と保護者が大勢いる。 |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

収支決算書

I 収入の部

項目	内容	金額
1 助成金等	次世代育成基金活用事業助成金 (598000)	591,261
2 その他収入	参加費収入 500円×297名	148,500
収入合計		739,761

II 支出の部

項目	内容	金額		
		参加者（子ども）	その他	項目合計
① 助成対象経費		676,167	59,364	735,531
(1) 旅費	1 講師交通費 2 スタッフ交通費	0	13,866 3,246	13,866 3,246
(2) 謝礼	1 講師謝礼(当日) 15,000円×15名 5,000円×1名 3,000円×2名 7,500円×6名 2 スタッフ謝礼(当日) 3,000円×37名 3 スタッフ事前打ち合わせ 2500円×12回 4 原稿作成謝礼 5 事前研究謝礼 3000円×3回	281,000 117,000 10,000	32,404 7,748	281,000 117,000 32,404 10,000 7,748
(3) 印刷費	1 チラシ印刷 5回 2 用紙代 30箱	5,910 9,654		5,910 9,654
(4) 物品購入費	1 材料費 2 予備材料費 3 事務用品	223,136 0 0		223,136 0 0
(5) 役務費	1 保険料 2 スタッフ年間保険料	12,990	2,100	12,990 2,100
(6) 使用料及び賃借料	1 施設使用料 11回分 2 実験材料運搬費	7,850 8,627		7,850 8,627
(7) その他				
② 助成対象外経費（その他の経費）		0	4,230	4,230
(8)	1 当日講師、スタッフ飲料代		4,230	4,230
支出合計（総事業経費①+②）		676,167	63,594	739,761